

石川県滝港マリーナ（施設名）の平成18年度管理状況

施設所管課	土木部港湾課
指定管理者	財団法人 羽咋市体育振興事業団 理事長 本 吉 一 寛
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事員全員に対し、気象、海象状況の把握を徹底 ・ 利用者心得等配布 ・ 出港問い合わせへの気象・海象状況案内 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートの実施(延 3通) ・ ご意見箱の設置(延 5通) ・ 利用者ニーズの反映(利用時間等の改善など) <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者への船台の貸出
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨット教室の開催(参加人数20～40人) ・ ヨット大会(天候不順のため中止・未実施もあり) 詳細は別紙「大会実施報告書」のとおり <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを開設 <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <p>沿岸、海難事故等に関する救助活動等レスキュー艇での連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元ボランティア救難所員(羽咋滝港マリーナ救難所) ・ 石川県漁業協同組合羽咋支部、柴垣支部 ・ 金沢海上保安部 警備救難課 ・ 羽咋郡市消防本部 ・ 羽咋警察署
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用許可の件数((2)参照) ・ 使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清 掃</p> <p>艇 置 場・公衆トイレ等委託</p> <p>保守点検</p> <p>クレーン・フォークリフト・ベルトスリンギ等点検整備</p> <p>係船・着岸時の指示</p> <p>警 備</p> <p>管理棟・艇庫の警備を業者に委託</p> <p>マリンリフトや管理棟などを修繕</p>

(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの策定、職員への教育 ・ 緊急連絡統計図の作成と徹底 ・ 救難所との連携 個人情報の管理状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の外部漏えい防止策の徹底
------------------	--

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合) 利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H17年度 (参考)	H18年度	前年度比	増減理由
施設利用者数(人)	7,866	11,503	+3,637	イベント開催による利用者の増。利用時間の延長による増。
施設稼働率(%)	98%	98%		

施設稼働率は、艇置き場の数に対する使用数。

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
ボート艇置場	153	0	
ヨット艇置場	51	0	
艇庫	3	0	
棧橋	5	0	
会議室	3	0	
マリンリフト	897	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
ボート艇置場	11,091,120		
ヨット艇置場(大会等)	448,190	2,248,730	教育的観点により
艇庫	135,150	405,450	"
棧橋	65,430		
会議室	3,150		
給水・シャワー	152,800		
マリンリフト	2,469,600	15,750	教育的観点により
その他(電気・水道)	184,843	34,950	"

(4) 収支決算

(円)

収入		支出	
利用料収入	14,550,283	人件費	6,464,147
		光熱水費	1,312,141
		修繕費	335,328
		委託料(警備等)	2,372,000

		保険料	413,000
		検査手数料	319,000
		その他	1,062,940
		県納付金	2,000,000
合計	14,550,283	合計	14,278,556
収支差額	271,727		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)
利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 18 年 5 月	職員の対応が親切	更なるサービス向上に研鑽を積む
平成 18 年 9 月	利用時間延長がありがたい	夏季のみ行ったが他季も検討

その他報告事項など

特になし。

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 従業員全員に対し、気象、海象状況の把握を徹底し利用者の出港の問い合わせに対応している。又、利用者アンケートの実施、ご意見箱の設置を行い利用者のニーズに反映している。(利用時間等の改善など)
利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ヨット教室の開催及びヨット大会を企画し施設の情報をホームページで提供している。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 艇置場、公衆トイレ等の清掃委託や管理棟、艇庫の警備委託、クレーン、フォークリフト、ベルトスリング等の点検整備により適切に維持管理がなされている。 マリンリフトや管理棟などを修繕し適切な状態に保たれている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの策定、職員への教育 緊急連絡系統図の作成と徹底 救難所との連携

適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理者など適切な職員の配置がなされており、適切な管理体制となっている。 業務に関する研修講習が十分なされている。
その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	B	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の外部漏えい防止策の徹底
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も専門的なノウハウを活かした管理を期待する。

評価基準

- A（優）：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

（ 7 ） 助言・指摘事項

特になし。